



北部っ子だより

豊田北部小学校だより 第5号平成30年7月24日発行 文責 教頭

**「為せば成る 為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなり」**

1学期終業式 校長のお話

豊田北部小学校の第1学期が今日で終わります。一体、何日間あったと思いますか。1年生から4年生までは、75日間、5、6年生は76日間も、みんなで精一杯過ごしてきました。皆さんにとって、この1学期は、どんな学期でしたか。私にとっては、幸せな学期でした。それは、皆さんがこうして元気に1学期を終えることができるからです。



皆さんは「子宝」という言葉を知っていますか。子供は、皆宝物ということです。なぜなら、これから大きくなって、みんなのために役立つ人になる可能性をいっぱい持っているからです。だから、北部小の子供は誰もが、宝物です。ですから、そんな宝物が傷つくことなく無事輝いていることが、私の一番の願いです。

さあ、宝物の皆さん、明日からは待ちに待った夏休みが始まります。1か月以上のお休みですから、夏休みの生活表などには、きつとめあてやこれやりたいという目標を記したと思います。では、このめあてや目標を決めたらどうしたらよいでしょうか。やはり、一番大切なことは皆さん自身が「決めたことは必ずやり抜く」と自分に誓うことです。また、お家の人や友達に「必ず、やります。」と話すこともよい方法です。皆さんならきっとやれます。

そんな皆さんにこんな言葉を送ります。「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなり」これは、江戸時代、米沢藩といって今の山形県のお殿様の有名な言葉です。何というお殿様か知っている人がいたら、すごいのですが……。上杉鷹山という人です。治めていた藩、地域が大変お金がなくて、困っていたのですが、色々な努力を重ねて藩を立て直した人です。意味は、「何かやろうと思って行動すればどんなこともできるもの。ただ、



決めただけでは何もできない。できないのは、その人がちゃんと行動しないからだ。」こんな意味です。とにかく、行動すること。決めたら、やるんだと。でも、今日はやめよう、明日からやろうでは成りません。自分で決めたのですから、すぐ実行です。そして、日々、こつこつと積み重ねることを大切にしてください。応援しています。くじけそうになったら、この言葉を思い出してください。最後に、この言葉をみんなで読んでみましょう。私の後について読んでください。

(児童と職員全員で元気良く読みました)

2学期の始業式では、「為せば成った」皆さんと会えるだろうと思っています。これでお話を終わります。

【米沢藩主 上杉鷹山】